

# グリーフケア ～残された家族を支えるために～

<b>日 程</b>	平成30年12月12日(水) (14:00～17:00)
<b>対象者</b>	介護福祉関係者 及び興味のある方 推奨職員:(中級～上級・全般)
<b>料 金</b>	会員(法人・個人)5,000円 ・ 一般6,000円
<b>会 場</b>	振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階) みなとみらい線「日本大通り」駅 3番出口 徒歩5分

グリーフケアとは、グリーフ(悲嘆)を癒し、様々な症状を軽くしたり、抜け出すためには、十分に悲しみ、何らかの方法で悲しみを表出し、受け止める作業、心の整理を行うことによって、悲しみを軽減させることをいいます。介護や医療の現場においてもそのグリーフケアが実際に活かされています。

本研修では、高齢者介護における、切り離せない高齢者様との別れによって、起こる特有な反応についての知識とその対処法を学び、専門職としてのグリーフケアの実践を目指します。

## 【 講 師 】

一般社団法人 日本グリーフケア協会

**久保 由佳** 社会福祉士、精神保健福祉士、産業シニアカウンセラー  
キャリア・コンサルタント技能士



グリーフケア・アドバイザー(一般社団法人 日本グリーフケア協会認定)。  
母(当時60歳)が、がん宣告(ステージⅣ)を受ける。2年7か月間の闘病、入院、ターミナル期を在宅で看取った経験をきっかけにグリーフケアを学ぶ。現在は当協会のほか、一般社団法人日本産業カウンセラー協会本部認定実技指導者(東関東支部所属)として産業カウンセラー育成に携わるほか、滋慶学園東京福祉専門学校にて、介護福祉士をはじめ専門職の育成と心のケア、グリーフケアの普及に関わっている。

《カリキュラム》

- ※グリーフケアとは
- ※悲嘆のプロセス
- ※遺族の心情
- ※死別悲嘆の援助

「施設」や「在宅」でのグリーフの相違点や  
支えどころの共通点を確認しながら  
具体的な事例をもとに、専門職としての  
ケアの実践法を学びます

突然予想もしていない時に襲いかかってくるものです。ご家族や大事な人が亡くなった時、あなたは、どうしますか？どうしてほしいですか？

※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。

法人名	
事業所名	
会員種別	( )会員 ( )個人会員 ( )一般
個人会員番号	

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行

**FAX:045-671-0295**

**TEL:045-210-0788**

〒231-0023横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒 _____ ( 自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所 )
	〈mail〉 _____ @ _____
	〈電 話〉 _____ (ファックス) _____
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係( ) ⑩ その他のサービス( )

### ＜参加者名簿＞ お申込合計人数 ( 名 )

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥5,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥5,000)
			⑧その他( )		3.一般(¥6,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥5,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥5,000)
			⑧その他( )		3.一般(¥6,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー	年	1.会員(¥5,000)
			⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者		2.個人会員(¥5,000)
			⑧その他( )		3.一般(¥6,000)
連絡事項					